

せとまちトーク進捗管理シート

萩山台 連区

テーマ

高齢者問題

課題・問題点の背景・理由

- ・団地は坂道が多い
- ・防災・買い物困難・・・道路整備が必要
- ・地域が魅力がないので若い人が少なくなっている・・・団地がきれいになれば若い方、新しい方がふえるのでは
- ・一斉入居から49年
- ・要配慮者の災害時においての様々が問題が想定されているので、出来ることから着手する

解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代(若者)の入居促進 →地域を元気にするには若い力の導入 ・小学校の1校化・・・小学校を1つにしてにじの丘学園のような小中一貫校にしてほしい ・道路整備(道路補正と駐車場問題、移動販売の駐車) ・高齢者向けの防災訓練や防災講演会が大切なので費用面での補助金を出して欲しい ・公団の整備(原山台のように) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協力して長期での対応を図る ・防災訓練の見直し ・道路にものを置かない ・ご近所さんとのつながりを深め不法投棄をさせない警戒の目を ・移動販売所の増大を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が地域の役員等に参加すると高齢者を助けられるのでは ・みんなの会で情報発信・活気を出す
--	--	--

関係する常任委員会

総務生活委員会
厚生文教委員会
都市活力委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

現状把握

要配慮者の災害時における救助、避難体制の必要性について、高齢者と障害者の担当課へリストアップを要請しているが、個人情報保護等の整理も必要になるので個人避難計画策定には途上段階である。災害時にすべての救助対象者を同時に救助することは不可能であるため、避難所のあり方含め地域防災力を高めることへの啓発の重要性は認識している。(特に萩山台は意識が高いと認識している)講演会への補助金等は検討していく。

菱野団地の小学校を1つにする案が示され、児童生徒のより良い学校環境向上のため、施設分離型の小中一貫教育を推進していく。教育の向上が図られ、移住を考える若い世代に認識されれば、居住誘導が進み萩山台に若い人が増えていく一助となっていくと認識している。菱野団地再生計画を官民一体となり進めていく中で「ご近所さんとの繋がりを深める」「移動販売所の増大を図り、買い物難民の問題解消」といったせとまちトークで出された意見に向き合っていく。

【補足】団地が開発され一斉入居から約50年がたち、ソフト面、ハード面で様々な問題が出てきているが、住民の方々の「何とかしなくては」という意識は非常に高いと考える。行政は地域団体との意見交換等を通じ、効果的な整備を行い、持続可能な団地を再構築していく必要があると考える。要配慮者を対象とした個別避難計画の作成は、必須課題であるため、行政に早期策定を促していく。委員会においても、個人情報保護の課題を踏まえ進捗状況を担当課に逐一確認をしていく。

せとまちトーク進捗管理シート

萩山台 連区

テーマ

高齢者問題

課題・問題点の背景・理由

- ・団地は坂道が多い
- ・防災・買い物困難・・・道路整備が必要
- ・地域が魅力がないので若い人が少なくなっている・・・団地がきれいになれば若い方、新しい方がふえるのでは
- ・一斉入居から49年
- ・要配慮者の災害時においての様々が問題が想定されているので、出来ることから着手する

解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

・子育て世代(若者)の入居促進
→地域を元気にするには若い力の導入
・小学校の1校化・・・小学校を1つにしてにじの丘学園のような小中一貫校にしてほしい
・道路整備(道路補正と駐車場問題、移動販売の駐車)
・高齢者向けの防災訓練や防災講演会が大切なので費用面での補助金を出して欲しい
・公団の整備(原山台のように)

・行政と協力して長期での対応を図る
・防災訓練の見直し
・道路にものを置かない
・ご近所さんとのつながりを深め不法投棄をさせない警戒の目を
・移動販売所の増大を図る

・若い人が地域の役員等に参加すると高齢者を助けられるのでは
・みんなの会で情報発信・活気を出す

関係する常任委員会

総務生活委員会
厚生文教委員会
都市活力委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

菱野団地における公立学校の適正規模・適正配置についての案が令和4年2月22日の第4回菱野団地再生計画推進協議会にて教育政策課から示された。
今後の進捗にあたっては、議会に対し、丁寧な説明と周知を徹底してもらうよう依頼した。
その後、3月定例会にて予算審査が行われ、担当委員会にて慎重な審査を行い、活発な議論がなされた結果、予算が成立された。

【補足】
今後の進捗については議会として注視していく。

せとまちトーク進捗管理シート

萩山台 連区

テーマ

高齢者問題

課題・問題点の背景・理由

- ・団地は坂道が多い
- ・防災・買い物困難・・・道路整備が必要
- ・地域が魅力がないので若い人が少なくなっている・・・団地がきれいになれば若い方、新しい方がふえるのでは
- ・一斉入居から49年
- ・要配慮者の災害時においての様々が問題が想定されているので、出来ることから着手する

解決手法

【行政】

- ・子育て世代(若者)の入居促進
→地域を元気にするには若い力の導入
- ・小学校の1校化・・・小学校を1つにしてにじの丘学園のような小中一貫校にしてほしい
- ・道路整備(道路補正と駐車場問題、移動販売の駐車)
- ・高齢者向けの防災訓練や防災講演会が大切なので費用面での補助金を出して欲しい
- ・公団の整備(原山台のように)

【地域】

- ・行政と協力して長期での対応を図る
- ・防災訓練の見直し
- ・道路にもものを置かない
- ・ご近所さんとのつながりを深め不法投棄をさせない警戒の目を
- ・移動販売所の増大を図る

【その他】

- ・若い人が地域の役員等に参加すると高齢者を助けられるのでは
- ・みんなの会で情報発信・活気を出す

関係する常任委員会

総務生活委員会
厚生文教委員会
都市活力委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

市の見解

- ・買い物や病院への通院などに困難を感じている方々のために、移動手段確保のひとつとして現在「住民バス」を運行中。
- ・子育て世代の入居促進については、現在「みんなの会」が取り組んでいるセンター地区の活用において子どもたちや若い人が集える場づくりを進め、そこからの情報発信に期待している。また、近隣大学にも協力を求め、若者の視点での賑わい創出、情報発信に努めてもらっている。
- ・老朽化した公団の再生については、県はこれまでに原山台7丁目の建て替えを終え、2丁目に取り掛かっている。また、八幡台4丁目の計画も進めており、今夏から住民説明会を始めたいとしている。
- ・小学校の統合については、市教育部が現在計画を進めており、八幡小学校と光陵中学校の活用で小中一貫教育を進めたいとしている。
- ・要配慮者の災害時における課題については、訓練、後援会などの費用面の補助など議会としても市当局に申し入れている。市としても可能な限り行っていく意向。
- ・道路や歩道の環境整備は地元要望に基づいて可及的速やかに解決していくとしている。

【補足】

菱野団地再生計画については委員会の調査研究テーマであるため、引き続き注視していく。